

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年07月26日

計画の名称	美里町宅地耐震化推進事業														
計画の期間	令和04年度 ～ 令和04年度（1年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	美里町														
計画の目標	令和3年度に実施した大規模盛土造成地変動予測調査により調査が必要と指摘のあった造成地について、簡易地盤調査を行い、危険性があると判断された場合は第2次スクリーニングを実施する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）			15	A	15	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R4末
1	簡易地盤調査を実施し、結果の公表及び対象者に対する情報提供を実施する。			
	簡易地盤調査を実施し調査結果を公表し、調査対象地の所有者及び管理者に対し、調査結果の情報提供を行う。	0箇所	箇所	2箇所
	簡易地盤調査の結果を公表した箇所数			
2	第2次スクリーニングを実施し、結果の公表及び対象者に対する情報提供を実施する。			
	第2次スクリーニングを実施し調査結果を公表し、調査対象地の所有者及び管理者に対し、調査結果の情報提供を行う。	0箇所	箇所	1箇所
	第2次スクリーニングの結果を公表した箇所数			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	美里町	直接	美里町	－	－	大規模盛土造成地の変動 予測調査	簡易地盤調査及び第 2 次スク リーニング	美里町	■					15		－	
												小計						15		
											合計						15			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本整備計画の事後評価として美里町で実施 (当初計画はR4年度までであったが、R5に繰越し事業を実施した。)	令和6年7月
	公表の方法
	美里町のホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	番号1について、令和3年度の変動予測調査によって明らかになった2箇所の大規模盛土造成地について、対象地2箇所の簡易地盤調査を実施し、第二次スクリーニングの必要性を検討した。また、結果のHPでの公表及び対象者への情報提供も行い目標を達成することができた。 番号2について、調査地所有者との協議の結果、計画期間内で第二次スクリーニング未実施。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
2箇所の簡易地盤調査の結果、1箇所は第二次スクリーニングが必要、もう一箇所は経過観察が必要と判断されたため、第二次スクリーニングが必要と判断された盛土について第二次スクリーニングを今後実施する。 経過観察と判断された盛土については、今後経過観察を実施し、異常が確認された場合は第二次スクリーニング等を検討していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	該当大規模盛土造成地（2箇所）について、第二次スクリーニングの可否に向けた簡易地盤調査を行う		
	最終 目標値	2箇所	
	最終 実績値	2箇所	
2	該当大規模盛土造成地（1箇所）について、第二次スクリーニングを実施する		
	最終 目標値	1箇所	当初計画では第二次スクリーニングを行う予定であったが、調査地所有者との協議の結果、令和7年度中に実施する予定となったため。
	最終 実績値	0箇所	